



東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和4年1月27日発行 第12号

新たな挑戦! タブレット持ち帰り

岩内東小学校長 齊藤 信之

3学期のスタートにあたって、子どもたちと危機感を共有し、感染防止に努めていくことを確認しました。また、罹患についての心ない誹謗中傷や差別、いじめにつながるような言動はやめ、思いやりある言動を心がけることについても触れたところです。

マスク着用、手指の消毒や手洗い、教室の換気と消毒等、基本的な対策を継続し、リスクが高い活動を自粛するなど警戒レベルを高めていたところでしたが、学年をまたいで罹患が確認されたため、急きよ1月24日（月）午後から学校閉鎖といたしました。登校させることを不安に感じていた方も多かったことでしょう。ご心配をおかけしたこと、そして、しばらくの間は家庭で過ごすこととなり、ご負担をおかけすることをどうぞお許し願います。また、学校閉鎖中、不要不急の外出は控えるようご配慮をお願いいたします。

接続テスト目前での学校閉鎖となってしまう、全ての予定を前倒しでタブレットの持ち帰りを始めました。学年によって活用の仕方に差異がありますが、可能な範囲で有効なツールとして使用します。従前のプリント類とタブレットとの二刀流で、子どもたちの学びを保障していきたいと思えます。保護者の皆さんにお力添えいただくこともあると思えますが、何卒ご協力をよろしくをお願いいたします。

コロナ第5波の中では、4割近くの子どもたちが「学校に行きたくない」と感じていたということが分かりました。加えて「コロナのことが始まってから、あなたを支えてくれた、あってよかったと思うことは、どんなことですか？」との問いに対して、子どもたちは、次のように答えています。「お父さんやお母さんと一緒にいると安心する」「学校があってよかった」「コロナ禍でも、学校の行事を工夫して開催してくれた」「学校の先生が、コロナのことやみんなを守るためのことを教えてくれて安心した」両親や先生方へ感謝の気持ちを伝える言葉が、心に沁みます。

子どもたちの不安や苛立ちを少しでも和らげながら、遅れを気にすることなく学ぶ意欲に応えられるよう、学校のチーム力で臨んでいきたいと思えます。特に、タブレットに関しては、かなり見切り発車ではありますが、できるところから前へ進むことが大事だと考えます。不都合やトラブルはあるものとして受け止め、その都度、対応しながら進めたいと思えます。可能な限りで構いませんので、お家でのサポートをいただけますようお願いいたします。

そして、何よりも子どもたちの毎日の健康状態の確認をお願いいたします。罹患した子の一日も早い回復をお祈りするとともに、2月7日には、全員揃って元気に学校を再開できることを心から願っています。